

## こころに残る景観資源【みち景観】の指定一覧

目 次			
指定物件 1	No. 3	堺町だんじり小屋横	P 1
指定物件 2	No. 4&7	東ヶ丘町グリーンベルトロード・花絨毯	P 2
指定物件 3	No. 8	和泉葛城山登山道	P 3
指定物件 4	No. 16	岸和田大橋（阪神高速湾岸線）	P 4
指定物件 5	No. 18	久米田池遊歩道	P 5
指定物件 6	No. 20	春を待つ岸和田城の桜道	P 6
指定物件 7	No. 21	お寺の道（本町紀州街道）	P 7
指定物件 8	No. 23	包近楠本神社もも花参道	P 8
指定物件 9	No. 24	相川ほたる遊歩道	P 9

指定物件 1

堺町だんじり小屋横



応募者によるこころに残るエピソード

- 子供の頃、堺町だんじり小屋横の路地は浜から町への抜け道に使っていました。  
大人になった今でもだんじり見物の時には使っている道です。  
子供に受け継ぎたいですね。 (36歳/男性)

岸和田市景観審議会による講評文

- エピソードに子供の時に通った路地で今でもだんじり見物の時に使っているとあるようにすぐ横に堺町のだんじり小屋、その先（岸和田城堺口御門跡として市史跡に指定）にはだんじり曳行を見ることができる。  
応募者にとってこころに残る「みち景観」であるとともにこの路地から見えるだんじり祭りはすばらしいみち景観をつくり出している。

指定物件 2 東ヶ丘町グリーンベルトロード・花絨毯



応募者によるこころに残るエピソード

■ 「グリーンベルトロード」…わが町東ヶ丘。町の中央を横断するグリーンベルトと呼ぶ土手がある。土手には町開きの記念樹となる桜の木が植えられた。以来四十数年、櫻木は町が成熟し、次第に高齢化社会へと辿る姿を見つめて来た。櫻木は衰えぬ己を誇示するかのように今、満開の花を咲かせている。町で生まれ育った三男も出ていき、夫婦二人の落ち着いた生活になると、年々グリーンベルトの桜花に逢える春が待ち遠しくなる。二人でグリーンベルトロードを行き来し、ほんわかとした気分浸るのが春の恒例となっている。  
(76 歳/男性)

■ 200mにわたる斜面ベルト方式の緑地帯に、樹齢44年のソメイヨシノ桜183本が植樹され、春には2000人超町民へ春の華輝きと香りをおおいに楽しませくれますよ。また、雨降り、風吹きによる花吹雪と花絨毯はさらに町民の心と体に元気のいろどりを培わせてくれます。尚、道路の他に、桜樹林帯にも散歩専用の徒歩道もあり安全に桜見物が出来ます。是非、お家族でお花見散策にお越し下さいませ、東ヶ丘町へ  
(74 歳/男性)

岸和田市景観審議会による講評文

■ 写真は桜の咲く春の時期であるが、現地調査では緑の葉をつけた桜等が連なっており、日常管理も良くされていた。  
地域の財産として地元住民が大切にし、花の咲く春を楽しみにして待っておられる姿が容易に想像された。  
並木の前の路上駐車にもお互いに気を付ければ一層すばらしい地域の誇りとなる景観といえる。



応募者によるこころに残るエピソード

■ 和泉葛城山は高さ 858m、塔原登山口から山頂までは徒歩 2 時間 30 分。

頂上には八大竜王社、そして展望台がある。

和歌山、大阪湾、関空など 360 度展望出来る。

この山のすばらしさは、疲れを知らずに秋の紅葉、冬の雪景色、そして晩秋から初春まで、霧氷、樹氷が堪能できることでしょう。

さらには 登山道の自然林「国の天然記念樹ブナ林」が、心うきうき、眼きらきら輝かさせてくれますよ。

正月に帰省する、長女家族、長男夫婦と一緒にこの道を雪景色、霧氷、樹氷景色めざして登るのが我が家の楽しみで、孫たちのキャ、キャ声が登山道に鳴り響くのがこころに残る思い出です。

(74 歳/男性)

岸和田市景観審議会による講評文

■ この登山道を進む時、鳥のさえずりや緑の木立など豊かな自然を享受でき、ゴミも一切落ちておらず地域の人々の愛着を感じられた。

特に山頂に近い北側斜面には国の天然記念物に指定されたブナ林が広がりその中を縫うようにボードウォークも整備されている。

木々を傷めないよう配慮されたこのみちは、こうした貴重な景観へと誘っている。



#### 応募者によるこころに残るエピソード

■ 阪神高速湾岸線の岸和田大橋の優雅な姿は、市内の浜側からはもちろん山手側からも高台から臨むことができる。

秋には祭の背景として、夏には花火が浮き上がらせるシルエットとして、多くの人々の心に刻み込まれている。

また、この橋は岸和田から自動車で行く旅に出る人、そして旅から戻ってくる人にとって街を代表するランドスケープでもある。

さらに最近では海外からの訪問者を乗せた車が行き来する岸和田のシンボルゲートとして、多くの人々の心に刻まれている。 (51歳/男性)

#### 岸和田市景観審議会による講評文

■ 岸和田ベイサイドモールから海側を眺めると全長 455mの本アーチ橋の雄大な姿があり、エピソードに山手側の高台からも臨むことができるとあるように岸和田のウォーターフロントを印象付けるランドマークといえる。

また、応募者の「市民が外出し車で帰ってくるとき、あるいは海外からのお客様を含め、岸和田を訪れる方がここを通る時、出迎えてくれるような岸和田のシンボルゲート」というコメントは印象深く感じた。



応募者によるこころに残るエピソード

■ 散歩が好きな私は、色々なところへよく歩きに 出かけます。  
写真の遊歩道は久米田寺へお参りした後、久米田池を一周するために歩  
いています。  
四季折々に花が咲きますので、楽しく散歩することが出来ます。  
皆様も歩きに行かれてはいかがでしょうか？

(71 歳/男性)

岸和田市景観審議会による講評文

■ 水面面積 45.6ha の雄大な久米田池（府史跡名勝）の周囲に設けられ  
た遊歩道は桜並木や久米田寺（府史跡）とも相まって親水空間へたくさん  
の人々を誘っている。

現地調査では猛暑にもかかわらず数人の方がジョギングを楽しむ姿が  
見られ、市民に親しまれている景観資源といえる。



応募者によるこころに残るエピソード

■ もう何年咲いたことだろう。黒く太い古木がしっかりと支えられている。

それでも幹から美しい花が吹き出していた。

若木は倒れないように紐で結ばれている。

若い木は一輪 二輪と咲き始めたばかり

毎年満開の桜を楽しんできた堀のまわりは 今、世代交代を始めているようだった。

岸和田城はいつもと変わらない様子で見守っていた。

さわやかな気持ちで歩いた今日この日の道・・・

(75 歳/女性)

岸和田市景観審議会による講評文

■ 桜並木に彩られた堀端のみちは再整備のうえ、新たな城の写真撮影スポットも創出され、たくさんの観光客や市民が来訪する岸和田のシンボル「岸和田城の景観」を支える重要な要素となっている。



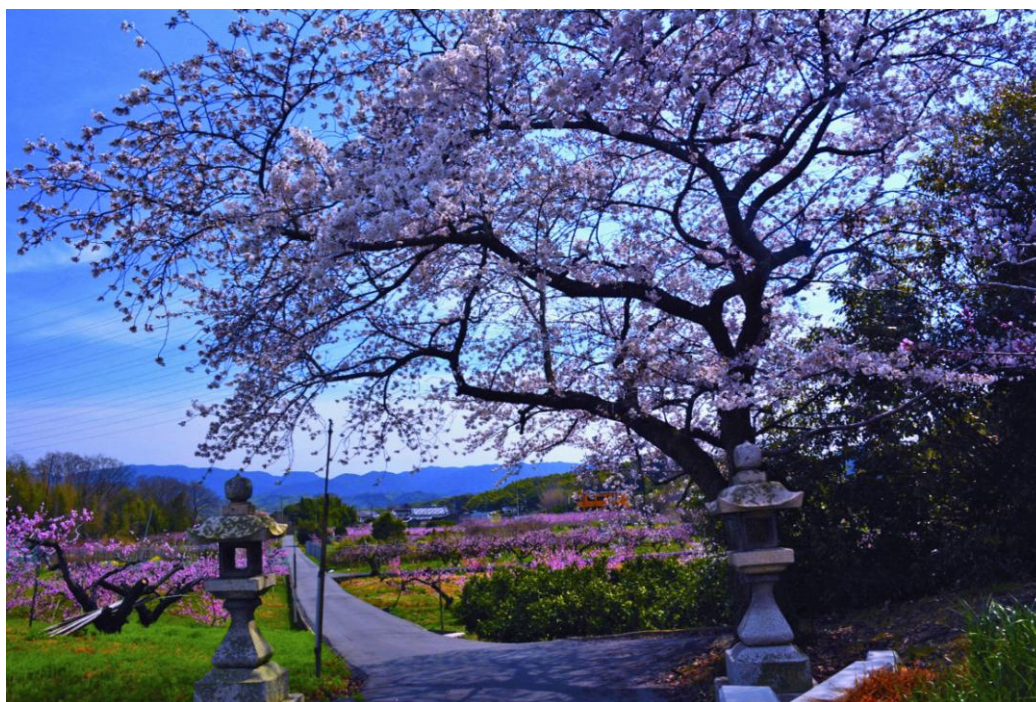
応募者によるこころに残るエピソード

- はじめて通った道だったけど、子どもの頃を思い出した。  
(69 歳/男性)

岸和田市景観審議会による講評文

- 江戸時代より、「城下町・岸和田」の商業の中心地として栄えた紀州街道にあたり、写真にあるお寺のほか、本瓦葺き・つし二階・出格子に代表される町家型住宅が連続して立地し、岸和田の歴史と文化を色濃く感じさせるみちとなっている。  
また、こうした歴史的なまちなみとそぐわない新しい建築物も見受けられたのは残念であり、歴史・文化の漂う貴重なまちなみが損なわれる危惧を感じた。





応募者によるこころに残るエピソード

■ 包近北の交差点、水道道、牛滝川の橋を渡り右へ入ると楠本神社の参道です。

この道は桃畑の中をまっすぐ神社へ 300m 程度の桃花参道である。

中ほどには素晴らしい桜の木が灯籠とともにそびえている。

4月中旬から5月上旬にかけこの道は花に彩られるよ。

又、桃畑はタンポポ、ツクシさんがさらに春を謳歌し、この道の楽しさ輝かしさを描いてくれます。

小さな道ですが春をうっとりさせてくれますよ。

さらに桃さんを食いたい気分が一段と増しますよ。 (74歳/男性)

岸和田市景観審議会による講評文

■ 楠本神社の参道となるこの道沿いには桃畑が連なり、灯籠横の桜が存在感を示し、両者が融合したまったりとした空間を形成しており、その先にある社寺林へと続くほのぼのとしたみち景観である。



応募者によるこころに残るエピソード

■ 「蛍の道」

6月のおわりごろには、蛍が飛び交う様子が楽しめます。向かいには棚田の風景が広がり、田植えの季節にはカエルの合唱が響き渡ります。

昔の岸和田にタイムスリップしたような錯覚を覚えるのどかなみちです。  
(71歳/男性)

岸和田市景観審議会による講評文

■ 津田川沿いに設けられた遊歩道となっており、少し進めば棚田の風景が広がり、のどかな空間が形成されている。

また、6月の蛍の飛び交う時期には多くの人を訪れ、一層魅力ある景観が創出されている。